令和7年度 大学コンソーシアム富山 「学生による地域フィールドワーク研究助成」事業募集要項

1 趣 旨

大学コンソーシアム富山(以下「コンソーシアム」という。)に加入している富山県内高等教育機関に在籍する学生が、富山県内の地域がもつ課題について、地域と一体となって行う、解決方策の提言や課題解決のための実践的なフィールドワーク研究を支援することで、次の世代を担う学生と県内の地域との交流の拡大、連携を促進し、地域の活性化を高めるとともに、学生にコミュニケーション力や課題解決力を身につけてもらう。

2 募集する助成対象研究の内容

(1) 研究題目内容

A 自由研究部門

各自で設定した研究テーマ(上記趣旨に合致したもの)に基づき、県内においてフィールドワークを行い、そこにある魅力や課題を引き出し、県内の自治体等が今後取り組むべき、地域の魅力の活用や課題解決策等を提案する。

B 課題研究部門

県内自治体から提案のあった研究テーマ(別添)に基づき、県内においてフィールドワークを行い、地域の魅力の活用や課題解決策等を提案する。

(2) 助成対象研究

県内高等教育機関に在籍する学生が所属するゼミナール(講座、専攻)等(プロジェクト授業を含む)の専門性を活かし、教員の指導のもとに学生が実施する県内でのフィールドワーク研究であること。

(3) 助成金額及び助成件数

助成金額:1研究当たり20万円を限度とする。

助成件数:合計10件程度

(4) 助成対象経費

交通費(学生及び学生引率の指導教員に係るもの)、消耗品費、通信費、会場使用料、 保険料、その他研究に要する経費等とする。

ただし、賃金、謝金、備品購入費、飲食費及び応募する研究目的以外の経費は除く。

3 募集締切日

令和7年3月5日(水)(必着)

4 研究期間

本助成金の対象となる研究は、令和8年1月30日(金)までに終了するものとする。

5 応募方法及び応募書類

- (1) 助成対象となる研究を提案する代表学生(入学予定の学生を含む)は、所属するゼミナール (講座、専攻)等(プロジェクト授業を含む)の指導教員を経由して提出すること。
- (2) 指導教員は、応募書を各大学等の事務担当に提出し、各大学等の事務担当は応募締切日までに e-mail または郵送により、次項の送付先まで提出するものとする。
- (3) 応募については**別紙様式1**によること。(採択決定後に1年生等のメンバー追加可能)

6 応募書の提出先

提出先は以下のとおり。

(e-mail) info@consortium-toyama.jp

(郵送) 930-0002 富山市新富町 1-2-3 CiC ビル 5 階 大学コンソーシアム富山事務局

7 審査及び交付の決定

- (1) コンソーシアムは、提出のあった応募書類について、審査委員会を設置し、助成対象研究を審査し、地域貢献部会において助成金の交付を決定する。
- (2) 地域活性化への寄与、研究成果の地域への還元等の観点を踏まえ、地域バランスに留意した上で決定する。
- (3) コンソーシアムは交付決定したときは、当該申請者に対し速やかに交付決定を通知する。

8 研究成果の報告

助成対象事業完了の日から30日を経過した日又は令和8年1月30日のいずれか早い日までに研究成果報告書(別紙様式2)をコンソーシアムに提出すること。

また、収支実績報告書(**別紙様式3**) については、研究目的購入品の支出完了後すみやかに 各大学等の事務担当者からコンソーシアムに提出すること。

9 研究成果発表

- (1) 本助成を受けた研究は、**令和8年3月3日(火)** (予定) に開催する研究成果発表会において、研究成果を発表するものとする。
- (2) コンソーシアムは、研究成果報告書を関係者及び関係機関に配布する。また、コンソーシアムのホームページに掲載する。

10 表 彰

提案内容をはじめ、研究成果発表会におけるプレゼンテーション等を審査し、別に定める表彰要項により「大学コンソーシアム富山地域研究賞」を授与する。

11 その他

フィールドワーク研究の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染防止に十分留意の上で取り組んでください。また、応募書等様式については、大学コンソーシアム富山のホームページに掲載してありますのでご利用ください。

URL https://www.consortium-toyama.jp/student_tiiki.html

「担当〕

〒930-0002 富山市新富町 1-2-3(CiC ビル 5 階) 大学コンソーシアム富山事務局 Tm 076-441-2455 FAX 076-441-2456